

2024 年度入学試験問題

選 択(日本史, 世界史, 政治・経済, 数学)

(60 分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 41 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
日本史	1 ページ～13 ページ	問 1～問 40
世界史	14 ページ～25 ページ	問 1～問 40
政治・経済	26 ページ～38 ページ	問 1～問 40
数学	39 ページ～41 ページ	ア～ハ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目、受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

日本史

(60分)

注意事項

1. 試験問題は、問1～問40まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問40までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

問題 I

次のAとBの文章を読み、以下の問い(問1～問10)に答えよ。

A

人類は新第三紀の終わり近くから第四紀を通じて発展した。第四紀は、およそ1万年余り前を境に更新世と完新世とに区分される。

日本列島には更新世の間に大型動物が渡来し、⁽¹⁾列島の各地でこれらの動物の骨が見つかっている。かつて、日本列島には旧石器時代の遺跡は存在しないと考えられていた。しかし、1946年、群馬県岩宿で相沢忠洋が関東ローム層から石器をみつけたことがきっかけとなり、1949年に学術調査がおこなわれたことにより、⁽²⁾旧石器文化の存在が確認された。以降、日本列島の各地で更新世の地層から石器の発見が⁽³⁾あいついだ。

地球の気候が温暖な完新世になると、植物は亜寒帯性の針葉樹林にかわり、東日本には落葉広葉樹林が、西日本には照葉樹林が広がった。動物も、大型動物は絶滅し、動きの速い動物が多くなった。こうして⁽⁴⁾縄文文化が成立した。

縄文人の生活では、おもに水辺に近い日当たりのよい台地を選んで、⁽⁵⁾集落をつくった。集団には統率者はいるが、身分の上下関係や貧富の差はなかったと考えられる。

問1 下線部(1)に関連して、「更新世」について述べた文として誤っているものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

- ① 青銅器や鏡を使い呪術的な儀式が頻繁に行われた。
- ② 寒冷な時期には、大陸では氷河が発達し、そのため海面は今よりも低かった。
- ③ この時代は寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期が交互に繰り返して訪れた。
- ④ 更新世は氷河時代とも呼ばれ、原人があらわれた。

問2 下線部(2)に関連して、「列島の各地」について述べた文として誤っているものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

- ① 野尻湖で、ナウマンゾウの化石が出土した。
- ② 静岡県で、化石人骨が出土した。
- ③ 茶臼山・上ノ平は、当時は陸地であったが現在は海岸である。
- ④ 茂呂・月見野は旧石器文化の主要遺跡とされている。

問 3 下線部(3)に関連して、「旧石器文化」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 旧石器時代の石器は、石を打ち欠いてつくる打製石器である。
- ② 狩猟を主として植物性食料の採取はおこなっていなかった。
- ③ 住まいは簡単なテント式の小屋や洞穴などを利用していた。
- ④ 火を使って生活していたと考えられている。

問 4 下線部(4)に関連して、「縄文文化」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 約1万3000年前から、水稻農耕をともなう弥生時代が始まる約2500年前頃までの期間にわたった。
- ② ユーラシア大陸各地の新石器時代の文化に対し、磨製石器は使用されず、主に打製石器を使用していた。
- ③ この時代に用いられた土器は、表面に器面を平らにするための縄を転がしてつけた縄文と呼ばれる文様をもつものが多いので縄文土器といわれている。
- ④ 中・小型動物を射とめる狩猟具の弓矢、主として植物性食料を煮るための土器などを使用していた。

問 5 下線部(5)に関連して、「縄文人の生活」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 植物性食料の重要性が高まることはなく、主に魚・貝や鳥・獣をとらえていた。
- ② 各地にある貝塚を調べると、石器や骨角器などの人工遺物もあった。
- ③ 青森県三内丸山遺跡のように大型の竪穴住居がともなう場合もあった。
- ④ 黒曜石などの分布状況から、かなり遠方の集団との交易もおこなわれていた。

B

縄文文化が続いていた日本列島は、中国大陸における農耕社会の成立や、鉄器の使用の広まりなどの影響をうけた。その影響は、朝鮮半島を経て日本列島にも広く波及した。朝鮮半島に近い九州北部で水稲農耕がはじまり、西日本に水稲農耕を基礎とする弥生文化が成立した。弥生文化の特徴は水稲農耕を基本とし、新しい技術は朝鮮半島からわたって来た人々によって九州北部に伝えられた。

弥生時代の水田は小区画のものが多く、灌漑や排水のための用水路をそなえていた。苗を植える田植えも始まっていたといわれている。集落を形成する居住の数も多くなり、大規模な集落も各地に現れた。それらの中には、まわりに深い濠や土塁をめぐる環濠集落もあった。集団の中に身分差が現われ、各地に強力な支配者が出現した。

農耕社会が成立すると集落のあいだにさまざまな対立抗争がうまれた。強力な集落は周辺のいくつかの集落を統合して、各地に「クニ」と呼ばれる政治的なまとまりが分立していった。この小国分立の状況は、中国の歴史書にも記載されている。

問 6 下線部(6)に関連して、「弥生文化が成立」した年代として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 紀元 1 世紀
- ② 紀元前 2 世紀
- ③ 紀元前 4 世紀
- ④ 紀元前 6 世紀

問 7 下線部(7)に関連して、「弥生文化の特徴」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 縄文土器とは異なる赤焼きの弥生土器がつくられた。
- ② 朝鮮半島とも共通する磨製石器なども弥生文化の特徴である。
- ③ 北海道と南西諸島も、食料採取の段階から食料生産の段階に入った。
- ④ 弥生文化は、東日本にも広まった。

問 8 下線部(8)に関連して、「九州北部」の遺跡として正しいものを、次の①～④のうちから一つを選べ。

- ① 紫雲出山
- ② 登 呂
- ③ 荒神谷
- ④ 吉野ヶ里

問 9 下線部(9)に関連して、「対立抗争」について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日常の生活にも便利な高地性集落が現われた。
- ② 外敵からまもるための防御施設をつくるようになった。
- ③ 収穫物をめぐる争いがおこるようになった。
- ④ 水の確保をめぐる対立が生じた。

問10 下線部(10)に関連して、「中国の歴史書」に記載された、紀元57年に、倭の奴国の王に印綬を授けた皇帝として正しいものを、次の①～④のうちから一つを選べ。

- ① 明 帝 ② 順 帝 ③ 光武帝 ④ 献 帝

問題Ⅱ

次のCとDの文章を読み、以下の問い(問11～問25)に答えよ。

C

1392年、朝鮮半島では、倭寇の討伐で名声を上げた [11] が高麗を倒し、朝鮮を建てた。朝鮮は通交と倭寇の禁止を日本に求め、 [12] もこれに応じたことから、日朝貿易が盛んにおこなわれた。朝鮮側は対馬の宗氏を通して交易を統制しようとした。日朝貿易は朝鮮軍が倭寇の本拠地を襲撃した [13] により一時中断したが、16世紀まで活発におこなわれた。

15世紀以降の日朝貿易では、日本から朝鮮へ [14—ア] が急激に持ち込まれるようになった。朝鮮からは高麗版の大蔵経が将軍や各地の武士、寺院にもたらされるとともに、日本ではまだ生産できなかった [14—イ] が大量に輸入された。日朝貿易は日本にとって極めて大きな利益を得ることができたことから、日本からの通交者が殺到した。そこで朝鮮は、一定の枠を設けるために、⁽¹⁵⁾3つの条件を通交者に課した。

16世紀後半、豊臣秀吉は朝鮮侵略を試みるも、失敗に終わった。その後江戸幕府をひらいた徳川家康は豊臣政権とは異なり、朝鮮との講和を実現した。対馬藩主宗氏は朝鮮とのあいだに [16] を結んだ。朝鮮から来日した使節の第1回目から第3回目は「回答兼刷還使」とよばれ、4回目から12回目は [17] とよばれた。

問11 空欄 [11] に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 李成桂 ② 李舜臣 ③ 李鴻章 ④ 李承晩

問12 空欄 [12] に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 足利義持 ② 足利義政 ③ 足利義満 ④ 足利義尚

問13 空欄 [13] に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 寧波の乱 ② 佐賀の乱 ③ 承久の乱 ④ 応永の外寇

問14 空欄 [14—ア] と [14—イ] に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 金 イ 絹
② ア 銅 イ 絹
③ ア 金 イ 木 綿
④ ア 銅 イ 木 綿

問15 下線部(15)に関して述べた次の文A・Bについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

A 通交時には、派遣者の名前が刻まれた図書印を必要とした。

B 日本人の船が入る港を齋浦、富山浦、鞆の浦の三浦に限定することとした。

① A 正 B 正

② A 正 B 誤

③ A 誤 B 正

④ A 誤 B 誤

問16 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 日朝修好条規

② 下関条約

③ 癸亥約条

④ 己酉約条

問17 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 謝恩使

② 通信使

③ 慶賀使

④ 勘解由使

D

17世紀後半から諸産業が飛躍的に発展した。漁業では、漁法の改良と漁場の開発が進んだ。清向けの主要な輸出品として干し鮑やいりこなどの俵物⁽¹⁸⁾がさかんに用いられると、蝦夷地で漁業がさかんになった。醸造業では、江戸時代中期以降に各地で銘酒が生まれ、酒屋が発達し、西日本で早くからつくられた醤油は、関東をはじめ全国で生産されるようになった。織物業では、西陣で高度な技術を用いた によって金襴や緞子などの高級品が生産されるとともに、その技術は各地に伝えられ、新たな絹織物の産地が生まれた。製塩業では、高度な土木技術⁽²¹⁾を用いた製法が発達した。陶磁器の生産は、の際に諸大名が⁽²²⁾つれ帰った陶工とともに⁽²⁴⁾伝わった登窯や絵付の技術の普及によってさかんになった。これらの陶磁器の一部は、長崎貿易の主要な輸出品となった。その後、尾張藩の保護のもとで、 や などでも陶磁器の生産が活発化した。

問18 下線部(18)の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 沼津では、網漁による鰹漁が盛んにおこなわれた。
- ② 陸奥では、鮪のはえ縄漁がみられた。
- ③ 紀伊や土佐などでは、網や鉈を駆使した捕鯨がみられた。
- ④ 根室では、秋刀魚の沖合底引き網漁が盛んにおこなわれた。

問19 下線部(19)に関して述べた次の文A・Bについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- A 西・魚崎・御影・西宮・今津のいわゆる灘5郷の酒がつくられるようになった。
- B 野田や龍野、湯浅で醤油がつくられるようになった。

- ① A 正 B 正
- ② A 正 B 誤
- ③ A 誤 B 正
- ④ A 誤 B 誤

問20 空欄 に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 地 機
- ② 力織機
- ③ 高 機
- ④ 毛織機

問題Ⅲ

次のEとFの文章を読み、以下の問い(問26～問40)に答えよ。

E

17世紀以来、朝鮮は外交関係を清国と日本に限っていたが、1860年代に入ると欧米諸国から開国をせまられるようになった。1876年に日本が朝鮮を開国させて以後、朝鮮国内では親日派勢力が台頭してきた。しかし、1882年の朝鮮の軍隊による反乱を契機として、朝鮮の政権は日本から離れて清国に依存し始めた。これに対して、1884年、朝鮮国内の親日改革派は、清仏戦争を好機ととらえ、日本公使館の援助を得てクーデタを起こしたが、清国軍の来援で失敗に終わった。

2回の事変を経て、清国と朝鮮に対する日本の世論が険悪化する中で、アジアでの連帯を否定し、清国と朝鮮に対して武力をもって対処すべきであることを主張する「脱亜論」⁽²⁶⁾が発表された。一方、極めて悪化した日清関係を打開するため、日本と清は条約を結び、両国の衝突は当面は回避されたが、日本国内では旧自由党左派の大井憲太郎らが、朝鮮に渡ってその保守的政府を武力で打倒しようと企て、事前に検挙される事件⁽²⁷⁾も起こった。

朝鮮を巡る日清両国の対立は、その後も続いた。こうした情勢⁽²⁷⁾の下で、1894年3月に朝鮮で農民反乱が起こると、清国は朝鮮政府の要請を理由に出兵し、日本も清国から出兵の通知を受けると朝鮮に出兵した。その後、朝鮮の内政改革をめぐる日清両国は対立し、同年8月、日本は清国に対して宣戦を布告し、戦争を指導する大本營⁽²⁸⁾を設置して、日清戦争が始まった。

戦局は、軍隊の訓練・規律、兵器の統一性などにまさる日本側の圧倒的優位のうちに進んだ。1894年9月16日には、平壤の戦いで清国軍を駆逐し、翌日には、清国の北洋艦隊を海戦⁽²⁹⁾で撃破すると、1895年2月には、北洋艦隊の根拠地である威海衛を占領し、日本の勝利は決定的になった。

日清間の講和交渉は1895年3月から始まり、翌4月に、日本全権と清国全権との間で講和条約が調印された。この条約によって、日本は台湾⁽³⁰⁾を獲得し、海外に領土を持つこととなった。この台湾では、1898年以降、日本は民政⁽³¹⁾に力を注いだ。

日清戦争でその弱体ぶりが明らかになった清国は、列強による勢力範囲の設定が本格化した。1898年には、ロシアが旅順・大連を租借し、イギリスは九龍半島と威海衛、ドイツは膠州湾、1899年には、フランスが広州湾を相次いで租借した。このような列強の中国分割の動きに対して、清国では1900年に入ると、「扶清滅洋」をとる排外主義団体の義和団が勢力を拡大し、北京の列強公使館を包囲し、これに同調した清国⁽³²⁾が列強に宣戦布告した。日本をはじめ列強は連合軍を組織し、これをやぶった。

問26 下線部(26)に関連して、この「脱亜論」を発表した人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 板垣退助 ② 福沢諭吉 ③ 西村茂樹 ④ 徳富蘇峰

問27 下線部(27)に関連して、この「事件」の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 江華島事件 ② 大津事件 ③ 大阪事件 ④ 虎の門事件

問28 下線部(28)に関連して、このとき「大本営」を設置した場所として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 大阪 ② 広島 ③ 長崎 ④ 福岡

問29 下線部(29)に関連して、この「海戦」の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日本海海戦 ② 豊島沖海戦
③ 黄海海戦 ④ 比島沖海戦

問30 下線部(30)に関連して、「台湾」を統治する官庁である台湾総督府の初代総督となった人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 桂太郎 ② 寺内正毅 ③ 上原勇作 ④ 樺山資紀

問31 下線部(31)に関連して、1898年に第四代台湾総督の下で民政局長(のち長官)となり、以後、8年余り台湾の「民政に力を注いだ」人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 後藤新平 ② 高橋是清 ③ 内村鑑三 ④ 石井菊次郎

問32 下線部(32)に関連して、この「清国が列強に宣戦布告した」出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 済南事件 ② 北清事変 ③ 満州事変 ④ 三月事件

F

1927年(昭和2年)、議会で震災手形の処理法案を審議する過程で、片岡直温蔵相の失言から、一部の銀行の危機的な経営状況が暴かれ、取付け騒ぎがおこって銀行の休業が続出した。時の若槻礼次郎内閣は、経営が破綻した [34—オ]⁽³³⁾ に対する巨額の不良債権を抱えた [34—カ] を緊急勅令によって救済しようとしたが、枢密院の了承が得られず総辞職した。次いで成立した立憲政友会の田中義一内閣は、モラトリアム(支払猶予令)を発し、日本銀行から巨額の救済融資を行い、全国的に広がった恐慌をようやく鎮めた。

1928年(昭和3年)に行われた普通選挙制による最初の総選挙では、無産政党勢力が8名の当選者を出した。この時、これまで非合法活動を余儀なくされていた日本共産党が公然と活動を開始したので、衝撃を受けた田中義一内閣は、選挙直後に共産党員の一斉検挙⁽³⁶⁾ を行い、日本労働組合評議会などの関係団体を解散させた。

この田中義一内閣の時期に、日本の外交は、中国政策を巡って強硬姿勢に転じた。中国の全国統一を目指して北上する国民革命軍は、広東から長江流域を北上し、各地方を制圧していった。これに対して田中内閣は、1927年(昭和2年)に中国関係の外交官・軍人を集めて会議を開き、満州における日本権益を實力で守る方針を決定した。この年から翌年にかけて田中内閣は、満州軍閥の [38—キ]⁽³⁷⁾ を支援し、国民革命軍に対抗するため、日本人居留民の保護を目的に、3次にわたる [38—ク] 出兵を実施した。

しかし、[38—キ] 軍が国民革命軍に敗北すると、関東軍の一部には謀略によって [38—キ] を排除して満州を直接支配するという考え方が台頭してきた。1928年(昭和3年)6月、関東軍は中央にはからず独断で満州への帰還途上の [38—キ] を [39] 郊外で列車ごと爆破して殺害した。

当時、事件の真相は国民に知らされず、満州某重大事件と呼ばれた。元老の西園寺公望の助言もあり、田中首相は当初、真相の公表と嚴重処分を決意し、その旨を天皇に上奏した。しかし、閣僚や陸軍から反対されたため、首謀者の [40] を停職にただけで一件落着とした。この方針転換を巡って田中首相は天皇の不興を買い、1929年(昭和4年)に内閣は総辞職した。

問33 下線部(33)に関連して、この「銀行の休業が続出した」出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 戦後恐慌 ② 金融恐慌 ③ 農業恐慌 ④ 昭和恐慌

